



## 会津地区

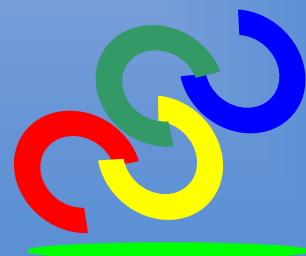
# 総合型スポーツクラブ情報誌

## 【クラブの現在・過去・未来】

〔この情報誌は、会津ユニオン所属のクラブ運営向上及びネットワーク強化を目的として作成しました。第2号は、「クラブの現在・過去・未来」を掲載しました。各クラブのこれまでの歩みの振り返りと今後の展望について記載されています。自クラブの運営にご活用ください。〕

作成 うつくしま広域スポーツセンター

NPO法人会津美里クラブ衆



## NPO法人会津美里クラブ衆

2011年10月、東北地方を襲った大震災の年の秋、被害の少なかった会津地方でさえ人々の気持ちは落ち込み塞ぎ込んでいる中、「スポーツの力で地域を元気にしよう!」を理念に掲げ、スポーツ・文化活動を通して地域コミュニティの活性化、豊かな暮らしと健康増進などを目的とし、当クラブは設立、事業をスタートしました。【事務局1名(常勤)】

設立当初は20種目だった活動が、2012年にスポーツ振興くじ toto の助成を受けたことにより、現在では29種目にまで増やす事ができました。その中でも少子化が進む子どもの活動に力を入れ、毎年、元オリンピック選手によるソフトボール実技講習会を開催しています。またロコミや広報活動により人気が高まって参加者が増えたHIPHOPダンスは、イベント出演要請が多くクラブの看板メニューと言えるほどの活動になっています。成人の活動では積極的に大会に参加する活動や、他のクラブと交流会を開いて親睦を深める活動、ご近所さんを誘い合って新規にできた活動など、まさに「町民が創り、地域で育てる」というキャッチフレーズに沿った内容となってきています。

また、2012年より町ウォーキング受付業務請負、2013年より本郷第二体育館の管理業務請負、同12月には念願のNPO法人格を取得しました。2014年からは高田地域スポーツ施設の指定管理を受託し、自己財源の確保に努めています。【2015年は事務局5名(常勤)、管理パート6名】

当クラブは、今後も町民のためのスポーツ・文化活動を継続していくため、人件費の財源となる施設の指定管理で信用を確保・持続し、新たな地域社会づくりの主体となれるよう行政と地域住民とをつなぐ役割を意識して自主運営を目指していきます。そして認定NPO法人の資格取得へ向け検討していきます。



【クラブマネジャー 貴志 陽子】

## ゆがわMy まいクラブ

### 『過去』

平成19年にクラブを設立し、6つのサークルで活動してきました。活動を休止したクラブもありますが、幼児から高齢者まで楽しく活動しているところです。村生涯学習事業と一体となり、元オリンピック選手を講師として講演会を実施してきました。

### 『現在』

幼児体操、シニア向けの体操、シェイプアップの若者向けの体操、一般向けの社交ダンス教室と、ほとんどが体操系でしめられています。それぞれ好評で楽しみながら行っているのが現状です。

### 『未来』

現在のところ後継者になる人材が見つからないので、新しい事業の展開も中々手につかない現状です。



【事務局長 高倉 好博】

## NPO法人ひめさゆりくらぶ

ひめさゆりくらぶは、「地域の方にスポーツやレクリエーション及び文化活動等に取り組むことの出来る機会や環境を提供し、子どもたちの健全育成や、世代を超えた交流の場を作り、元気で明るいまちづくり」を目標に、2年間の準備期間を経て平成20年2月に設立しました。

当初は、既存の団体の活動と重複しない小学生向けの複合型スポーツ少年団、パラグライダー体験、バスケットボール教室、テニス教室、グラウンドゴルフ教室、介護予防運動出前講座などの活動を進めていこうと展開しましたが、民間主導で立ち上げたため、認知度が低く参加者が集まりませんでした。しかし、運営スタッフの地道な活動により、平成24年からは toto の助成を受け、平成25年には市の熱塩加納体育館に事務局を構えることができ、クラブ運営の環境も整ってきました。

平成26年12月にNPO法人格を取得し、現在は、定期教室として、複合型スポーツ少年団(U12スポーツ教室)、フットサル教室、グラウンドゴルフ教室、バドミントン教室、介護予防運動出前教室(わくわく体操教室)、パラグライダー教室などを開催しています。この中でもフットサル教室とバドミントン教室は、小学生以上の方が対象で、多世代の方々が活動をしています。また、U12とフットサル以外の教室は、お茶タイム付で、参加者の交流が図られています。イベントとしては、グラウンドゴルフ大会、秋色フェスティバル、ドッジボール大会、日赤様より講師派遣を受けての救急法講習会を年に2回開催しています。また、今年度からはヨネックス様の協力によるバドミントン講習会も開催しました。

今後は、これまでの「まちづくり」「仲間づくり」「人づくり」を見据えた活動を充実させながら、地域住民の健康寿命を延ばすことを目的とした、介護予防運動の出前教室に力を入れたいと思います。また、28年度で toto の被災地枠の助成が終了するので、その後の財源確保や行政との連携についても真剣に考えていきたいと思っています。



【クラブマネジャー 平林 ひろ子】

## きたあいづスポーツクラブ

【過去】・・・平成22年10月に設立し、まずは旧体育連名加盟団体の活動の充実を図りました。平成23年度からは福島県スポーツ振興基金、JSC、県レクリエーション協会からの助成金等を活用しながら新規教室を年に1または2教室立ち上げてきました。

【現在】・・・定期教室は12教室で、高齢者や子どもの教室が充実しています。今年度からは鶴ヶ城ハーフマラソンランニング講習会を受託しています。これに伴い母体である北会津ランナースが地域の枠を超えた活動に発展させようと計画しています。

【未来】・・・次年度中の法人化を目指しています。委託、管理業務の望めない中で法人化のため、慎重に協議を進めています。今年度より障がい者スポーツを取り入れており、次年度は定期教室へ移行します。企画、運営がとて難しい教室ですが、クラブを象徴するような教室に発展途中です。

アフター toto のクラブ運営に関してはまったくの白紙ですが、クラマネが常駐しない中でもクラブが滞りなく活動できるような組織づくりを進めていきます。



【クラブマネジャー 赤羽 吟子】

## やまとスポーツクラブ

### 【設立から】

市町村合併から6年余り、少子高齢化と人口流出に拍車がかかり憂慮すべき状態となっていた平成24年12月26日に「やまとスポーツクラブ」が先の東日本大震災の復興支援によるスポーツクラブ助成金を受け設立しました。設立当初から総合型スポーツクラブとして地元のスポーツ団体やスポーツ愛好者と連携し9教室を設定、新たな取り組みは立ち上げ関係者の大いなる努力と期待を寄せる町民に支えられスタートしました。立ち上げ時のキーワードとした、多世代・多種目・多志向を念頭にそれぞれ教室の内容や活動形態を必要に応じて変えながら、この地域でスポーツを親しむことの出来るクラブづくりを進めてきました。

### 【現在】

主たる教室はそれぞれの活動を順調に進め現在11教室、ウォーキング、グラウンドゴルフ等のイベントについても役員の担当を置いて実施し、クラブ員の交流と新規会員開拓のアピールの場としています。助成金に頼るところがほとんどですので、独自に活動が維持出来るよう自己財源確保が出来る、魅力ある楽しいクラブづくりを目指しています。次年度は文化系も取り入れ13教室を計画中です。

### 【未来】

言われ尽くしてきた「原体験」、いま言われ始めている「健康年齢」が新たな展開のキーワードとなると考えます。地域に必要なとされることをスポーツの力で展開して行ければと思います。



【サブマネジャー 小澤 清一】

## 赤べこトータルスポーツ

当クラブはH20年4月20日より任意団体として設立し、スポーツを楽しみたい人たちの受け皿として、エアロビクス&マットサイエンス教室を始め11種目の教室を開催し、誰でも取り組みやすい運動を通じて会員の健康、体力の保持増進、地域コミュニティの活性化を目指して総合型地域スポーツクラブとして活動してきました。H24年度4月より、スポーツ振興くじ助成金 toto を利用し、自己財源の確保、クラブの運営、事業の活性化を目指しながら、様々な事業を展開してきました。

H26年9月に、NPO法人取得の為の検討会及び運営委員会を開き、法人格を取得することを決定し、今年度27年に入ってから定期的に設立準備が進められ、申請書類を整えて、9月28日に県に提出しました。現在は公告、縦覧の期間に入っております。現在力を入れている教室は、マルコ体操教室、ヒップホップダンス教室、キッズスポーツ教室です。マルコ体操教室は参加人数が15名程で安定しており、10月17日(土)に町の福祉祭りで教室を開催し、PRすることが出来ました。ヒップホップダンス教室は毎週の教室で練習を重ね、各地区のイベントなどに出演しています。キッズスポーツでは、体育館での運動遊びを中心に夏は水泳教室、冬はスキー教室を行っています。又、当事業の水泳講習会やドッジボール講習会にも積極的に参加しています。

今後はNPO法人格を取得し、更なるクラブの事業の活性化、正会員、利用会員数の増加を目指して、役員、事務局がしっかりと連携を取りながら頑張っていきたいと思っております。クラブのHPを開設したり、新しい教室としてキッズコーディネーション教室(スポ少に入っていない小学校4年生から6年生の子が対象)を行う予定です。また受託事業として、町の運動施設B&G海洋センターの施設管理の取得も目指していきます。(最終的には指定管理が目標です)



【クラブマネジャー 鈴木 里美】

## 謹教スポーツクラブ

### ○『過去』

謹教スポーツクラブは設立より11年、地域住民の豊かなコミュニティの構築、青少年の健全育成などを目標に掲げ、スポーツを通じたまちづくりに取り組んできました。設立当初は、役員が全ての事業を担当し、ボランティアでクラブ運営に携わっていました。地元小学校と連携した地域大運動会、地域交流ソフトバレーボール大会、子供からお年寄りまで参加できるもちつき交流会など、限られた中での活動でしたが、当時から行われている事業は今でも謹教スポーツクラブと地域を結ぶ基盤となり、今もクラブにとって大切な年中行事となっています。

### ○『現在』

2012年からはスポーツ振興くじ toto の助成金を受け、活動の幅をさらに広げることができました。地域住民だけでなく市内全域からの参加者が増え、会員数が4年前の約2.5倍に増加しました。地域自治会イベントの共同開催や、地域包括支援センターとの介護予防運動事業のコラボレーション等を通じて、地域と相互に連携・協力する機会も少しずつですが増えてきています。これから更に教室数、種目数を増やし、広く多くの市民がスポーツに取り組みやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

### ○『未来』

2014年に会津若松市が小中学生を対象に実施したアンケートによると、スポーツに対する関心度は高いという結果に加え、将来に対する不安を抱えている子ども達が多く存在することがわかりました。このような地域課題に取り組むべく、謹教スポーツクラブとして更なる運動機会の創出や指導者発掘などに力を入れ、子ども達がスポーツを通じて豊かな心と体を育み、「プロスポーツ選手になりたい」という夢を実現できるような環境を作っていきたいです。また、「総合型地域スポーツクラブの職員」が、子どもたちにとって憧れの職業となるような更なる認知度向上も目指していきたいと思います。そして、地域の大人が子どもを育て、やがて子供たちが地域の大人として活躍できるような好循環を生み出していきたいです。



【クラブマネジャー 五十嵐 有紀】